

---

◎報告第2号 専決処分の報告について

(損害賠償の額の決定について)

○議長（山本浩平君） 日程第7、報告第2号専決処分の報告についてを議題に供します。

提出者からの説明を求めます。

大黒総務課長。

○総務課長（大黒克己君） 報告第2号でございます。

専決処分の処分について。地方自治法第180条第1項の規定により、議会において指定されている下記事項について別紙のとおり専決処分をしたので同条第2項の規定により報告する。

平成26年10月14日提出。白老町長。

記、法令上町の義務に属する1件100万円以下の和解調停及び損害賠償額の決定に関すること。

次ページでございます。専決処分書。

地方自治法第180条第1項の規定に基づき白老町議会会議条例第8条の規定により町長において専決処分することができる事項について次のとおり専決処分する。

平成26年9月25日専決。白老町長。

記、1、損害賠償の額、金69万6,000円。

2. 損害賠償の相手方、記載のとおりでございます。

次のページ、説明でございます。事故の発生状況。

1、日時、平成25年12月22日日曜日、午前10時20分頃。

2、場所、苫小牧市高丘道央自動車道高丘バスストップ下り線出口ゲート。

3、当事者、(甲)車両、(乙)施設、記載のとおりでございます。

4、状況、平成25年12月22日午前10時20分頃、(甲)が白老町で発生した救急事案の傷病者及び関係者を救急車両で苫小牧市立病院に搬送するため道央自動車道下り線を走行し、苫小牧市内高丘バス停留所から一般道へ出るため副道を下がり開閉ゲート前で停車しようとしたところ、下り坂の凍結路面によりスリップを起し、(甲)車両全部が開閉ゲート扉開口部分に接触したものの。

5、被害の程度、(乙)施設、開閉ゲート扉変形損傷。

6. 損害賠償額、本件は(甲)が路面状況に適した原則対応等の判断を誤って発生した事故であることから、(甲)は(乙)に対してゲート扉の修理費等69万6,000円全額を支払うことで示談する。なお損害賠償額については全額保険により補てんされるものである。事故現場の位置図及び見取り図は別紙のとおりでございます。以上です。

○議長（山本浩平君） ただいま提出者からの説明がありましたが、この件に関して何かお尋ねしたいことがありましたらどうぞ。すいません私のほうから1点だけお聞きしたいのですが。これは減速しなければならぬというのはこれは本当にそういうことであって、やはりミスはその運転された方のミスかもしれません。ミスだと思います。しかしながらこの通常高速道路というのは融雪剤まいていますね。この緊急車両入るところ、下り路面ですね。これは通常ち

やんと融雪剤をまいていることをやっているのかどうなのかということと、もし通常そこまでやっていないとしたらこれは緊急車両を使う自治体がきちんと申し入れをすべきだと思うのですが、この辺についてはいかがでしょうか。

中村消防長。

○消防長（中村 諭君） 今の質問でございますが、実はここで滑ったのが2回目でございます。前回につきましては相手側に損害はありませんでしたが、どうしても日陰ということで、この1回目のときに私どものほうで使わせていただいている関係上、道路管理上の義務があるのではないかとということで、今議長の言われたとおりその点をお願いしておりました。ちょうどその1年後でございます。一部が日陰になっていて完全にアイスバーンということでこの事故が発生いたしました。救急隊にありましてはまさかというところもあったのでしょうけれども、事実滑って事故を起こしたというのは当方の路面の判断が誤ったということはこれは間違いございません。すぐ関係、東日本道路株式会社のほうには申し入れをさせていただいております。ゆっくりとぶつかった損傷状況もちょっと若干私納得できませんでしたので当初の見積金額では私その当時署長だったのですが、ちょっと協議をさせていただいた事実もございます。それとその時点で救急車にありましてはスタッドレスタイヤをはいております。なかなかスパイクタイヤが手に入らないということもあります。ただワンセットスパイクタイヤがありましたのでその救急車につきましてはすぐスパイクタイヤにはきかえたということがあります。今後あそこの道路はあくまでも臨時の副道でありまして、そこら辺も使う側としてはきちんと管理をしていただきたいという申し入れをしております。では使わなければいいのではないかという話になるかもしれませんが、苫小牧市立病院に搬送しているほぼ50%があそこをさせていただいております。その状況、気象状況、それから患者の状況によっては多少下の道路を使う場合がありますが50%使っているのは事実でございます。今年もおおむね50%使わせていただいております。そういうような状況がありまして、冬を迎えるので私どももより一層、隊員のほうにも指導と並びに東日本道路株式会社のほうには再度今回の議会報告を含めましてお話をさせていただくつもりでございます。以上でございます。

○議長（山本浩平君） わかりました。ほか、ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（山本浩平君） では以上をもちまして、報告第2号はこれもちまして報告済みいたします。